



高田 泰治(たかだ たいじ) チェンバロ

2002年神戸新聞松方ホールにてテレマン室内オーケストラとともにピアノ、フォルテピアノ、チェンバロのそれぞれの協奏曲を一夜で演奏するという公演にてデビュー。
2009年より日本テレマン協会の定期演奏会(東京)にてオールJ.S. バッハプログラムをスタートさせる。「音楽的に心地良いその流れとメリハリのある節回しは、高田の鋭いセンスを物語っていた。」(「音楽の友」2009年11月号)など毎回高い評価を得てきた。
その演奏内容がバッハ研究の総本山「バッハ・アルヒーフ」(ライブツィヒ)に高く評価され2011年に同団体の主催する定期演奏会に出演(日本人鍵盤奏者として初めての招聘)10月には同公演と同じ曲目を収録したCDをライブノーツよりリリース。
現在はバロックヴァイオリンのU. ブンディースとデュオを結成しドイツでも演奏活動を展開中。C. ショルンスハイムのほかA. シュタイアー、O. ボーモンに師事。
2013年4月にはU. ブンディースとデュオのCDリリース。平成23年度坂井時忠音楽賞受賞



浅井 咲乃(あさい さきの) ヴァイオリン

テレマン室内オーケストラ、ソロコンサートマスター。2008年に登場し、ヴィヴァルディの「四季」全曲を見事に公演。2010年の日本テレマン協会・第195回定期演奏会における同曲の公演「いま、もっとも聞きたい『四季』と言ってよい」(モーストリークラシック2011年2月号)という高い評価を得ている。
2011年には延原武春指揮によるコンセプト・オーケストラ「Orchestra Japan 2011」のコンサートマスターを努め、マーラー交響曲4番ほかを好演。このライブはCDとなり雑誌「レコード芸術」(2012年7月号)にて特薦盤となる。その評の中でも「(交響曲4番)第2楽章ではソロ・ヴァイオリンを弾く浅井咲乃が実にうまく、エスプレッシーヴォだ。ポルタメントの効いてること!」(宇野功芳氏)絶賛。2012年9月にはナミレコードよりヴィヴァルディ「四季」全曲「ムガール大帝」などを収録したISTアルバムがリリースされ話題となる。
2013年3月にチェンバロ奏者高田泰治とのデュオを結成。



中野 順哉(なかの じゅんや) 解説

作家。日本テレマン協会代表。小説を阿部牧郎、浄瑠璃台本を七世鶴澤寛治の各氏に師事。関西学院大学文学部フランス文学科卒業。在学中より日本テレマン協会の活動にライターとして参加。2000年より旭堂南左衛門と共に創作講談を手掛ける。同時に各地の歴史をテーマに創作した講談と音楽のコラボレーション＝「音楽絵巻」をプロデュース。上演した講談はすでに100作以上にのぼる。さらにアジア各国の隠れたストーリーを講談にして、日本に紹介するという活動も開始しすでに、トルコ・ヴェトナム・オマーン・インドと云った国々の物語を執筆中。人間国宝・七世鶴澤寛治のもとで、三味線が語る浄瑠璃＝彦六座系の台本を再生するという取り組みを始めている。
2011年に日本テレマン協会二代目代表に。「関西クラシック『国産』宣言」や協会創立50周年記念事業「大大阪ターフェルムジーク」などをプロデュースし、ラジオ番組のプロデュースや共同通信社の書評を執筆するなど多方面における活動も目立つ。

第4回アートと輪環展 *コンサート会場から徒歩10分

期 間：2014年10月15日(水)～10月19日(日)
平日11時～17時30分 土曜、日曜日16時30分迄

場 所：ギャラリー・ミュージゼボンヒゴ(Musee Pont Higo)
大阪市西区江戸堀1-15-6

展示作品：水彩画・油彩画・日本画・鉄道写真・動物写真・家具
(予定) 風景写真・和紙工芸・陶芸・漆芸・竹垣工芸・書
パッチワーク・クラフト・バードカービング・写経など

催 し：ギャラリートーク(日替わりの出展者のお話しタイム)
(予定) 16日(木)～19日(日)の毎日13時と16時の2回
毎回30分程18日(土)は13時の1回のみ

入 場 料：無料

お問合先：mail: klub.zukunft@gmail.com
TEL: 090-1586-6398(山下)

主 催：Klub Zukunft(クラブ・ツークンフト)



NPO Klub Zukunft (クラブ・ツークンフト)
- 古今東西の文化を探究する集団 -

<http://klubzukunft.com>

クラブ・ツークンフト(ツークンフトはドイツ語で「未来」を意味する)は、文化・芸術・観光などの分野で、社会に役立つ活動や事業をしているNPO団体です。講演会、展示会、コンサートなど多彩な催しを開催し、日本やドイツの文化を始め、古今東西の文化を探究しています。